



公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation



〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL] +81-72-867-1686 [FAX] +81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainfo@hmc.hosokawa.com [URL] www.kona.or.jp

第 57 回 粉体工学に関する講演討論会を東京で開催

【日時】令和 7 年（2025 年）9 月 3 日（水）午前 10 時 00 分～午後 4 時 50 分

【場所】ホテル東京ガーデンパレス（東京都文京区）ならびにオンライン

【主催】公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

【後援】ホソカワミクロン株式会社

令和 7 年 9 月 3 日(水)に、「第 57 回 粉体工学に関する講演討論会」が開催され、「先端分野を支える粉体の構造制御とその応用」をテーマとして、粉体工学・粉体技術の基礎と応用の観点から、KONA 賞受賞講演を含む 6 件の講演がありました。昨年度に引き続き、会場とオンラインでのハイブリッド形式での開催となりました。

冒頭では、細川悦男理事長より開会の挨拶があり、学界および産業界の幅広い分野からの参加者に歓迎の意が表されました。また、この講演討論会の開催経緯や、当財団の国内外での粉体工学分野における活動について紹介がありました。

続いて、KONA 賞の贈呈式が行われ、内藤牧男常務理事より 2024 年度受賞者である米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校名誉教授 Anthony J. Hickey 氏が紹介され、理事長より KONA 賞の盾が授与されました。KONA 賞は、粉体工学分野において顕著な業績を上げられた研究者に授与される国際賞であり、毎年、世界中から推薦された候補者の中から審査により原則 1 名が選ばれます。今回で 39 人目の受賞者となり、同氏は米国から 3 人目の受賞者となりました。

引き続き講演会では、まず KONA 賞受賞記念講演が行われ、様々な肺疾患の治療方法として目覚ましく進歩しつつあるエアロゾルドラッグデリバリーシステムについて、薬学ならびに粉体工学的な観点から、薬効成分や賦形剤などの特性を考慮した安全で効果的な吸入製剤の研究開発について紹介されました。



開会式



KONA 賞贈呈式にて

(細川理事長と 2024 年度 KONA 賞受賞者

Prof. Anthony J. HICKEY)



講演討論会講演風景



講演討論会討論風景

続いて、粉体工学学界を代表して、広島大学大学院の荻崇教授および横浜国立大学大学院の飯島志行准教授による講演が行われました。荻教授からは、気相中での微粒子の構造制御と先進材料開発への展開について、飯島准教授からは、液相中における微粒子の分散と集合構造制御に基づく機能性材料の設計について発表がありました。

さらに、産業界からは、近年注目を集めている製品開発への粉体技術・ナノ粒子合成加工技術の応用に関する講演が行われました。デンカ(株) 江本秀幸氏、日本特殊陶業(株) 彦坂英昭氏、およびホソカワミクロン(株) 東和田剛司氏より、それぞれ、サイアロン蛍光体の特性改善とその実用化、リチウムイオン伝導性酸化物固体電解質の開発およびその粒子表面制御・電池応用、ならびに乾式操作による粒子構造制御について講演がありました。

講演会の最後に、ホソカワミクロン(株)代表取締役細川晃平社長から閉会の挨拶があり、講演会は盛況のうちに終了しました。講演会終了後には、昨年度に引き続き懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。

本年の会場への来場者数は 100 名を超え、会場はほぼ満席状態となりました。オンライン参加者を含めると、総勢約 260 名の参加がありました。次回（第 58 回）は、令和 8 年（2026 年）9 月に大阪での開催を予定しております。



閉会式



懇親会風景